
志保と新一の恋愛物語

音符

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

志保と新一の恋愛物語

【Nコード】

N3493F

【作者名】

音符

【あらすじ】

このお話は志保とコナン（新一）の恋愛物語の続編です

コナンが新一に戻って一週間。
二人の生活は相変わらずだ。

「志保…今日どっか出かけないか？」

「ええ。いいわよ」

「よし、じゃあトロピカルランドでも行くか」

新一と志保はトロピカルランドに行く事にした。

二人は始めにジェットコースターに乗る事にした。

「以外と高いわね…きゃ！」

志保が下を見ているとコースターが下がり始めた。

志保はびっくりしたが、慣れてきてそのままコースターが止まった。

「次はどこ行くの？」

「次は…お化け屋敷！」

新一と志保はお化け屋敷に入った。

「志保…手、繋いでもいいか？」

「えっ…？ええ、いいわよ」

新一は志保の手を握った。

そのまま二人はお化け屋敷を出て昼食を食べ、午後も適当に乗り物に乗って最後に観覧車に乗る事にした。

「今日は楽しかったな」

「ええ。ありがとね、新一君」

「あのお…」

「何？」

「俺の事呼び捨てでいいよ…ていうか新一って呼べ！」

「え…。…………じゃあ…新一…？」

「そう、それでよし！」

新一は満足そうだ。

「なあ、志保。俺達もう18だよな？だから…その…俺と、結婚してくれないか？」

「し、新一く…じゃなかった…新一…ほんとに私なんかでいいの？」

「当たり前だ。おめえじゃなきゃ嫌なんだよ」

「…ありがとう、新一。これからもよろしくね？」

「ああ、こちらこそよろしく」

二人はそっと唇を重ねた。

それから一週間後、二人は無事結婚した。

そして幸せに暮らしている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3493f/>

志保と新一の恋愛物語

2010年10月11日05時14分発行